

緊急事態宣言の解除後の保育の考え方についてお知らせします

2020年5月22日

子どものその幼保連携型認定こども園

まだ決定ではありませんが、6月1日から緊急事態宣言が解除されることになると思います。2か月に及ぶ長い間、子どもたちも保護者の皆さんも不自由な生活で大変だったと思います。新型コロナウイルスの感染拡大予防にご協力いただきありがとうございました。

6月1日から幼稚部は再開したいと思います。但しすぐに以前の状態に戻るのには難しいと考えています。新型コロナウイルスによる感染が減ったとはいえ終息しているわけではありません。「5月7日に再開を想定した場合の幼稚部について」でお知らせしたように、学年別の分散登園を6月いっぱい行います。詳しくは、別紙「6月1日に再開した場合の幼稚部について」をご覧ください。

保育部も縮小しつつ自粛要請をお願いしましたが、この期間の保育部は平均 35.4%の登園率でした。みなさんご協力ありがとうございました。市役所から「引き続き登園自粛を要請します」とお知らせがきています。各家庭の事情に合わせて、これからも登園自粛にご協力いただけると助かります。

完全に新型コロナウイルスが終息していない中で、どのように保育を進めていくのか、子どものそのの基本的な考え方をお知らせします。

- 1、長く家庭で過ごした子どもたちは「早く園に行きたい」気持ちと新しい生活への不安の両方があると思います。その気持ちをしっかり受け止めながら、ゆっくり始めていきます。まずは、担任と子どもたちが仲良くなって関係を築き、安心して園生活に慣れていくことが大事と考えています。保護者の皆さんも心配な気持ちもあると思いますが、その場合は遠慮なく担任や園に相談していただき、一緒に考えながら焦らずに子どもたちを見守っていただければと思います。
- 2、乳幼児は、ひととの密接なかかわりの中で成長していきます。できるだけふだん通りのあそびや生活ができるように大人が工夫しながらのびのび過ごせるようにしたいと思います。
- 3、職員は、できる限りマスクを着用し、手指の消毒を行いながら、保育室の中で極端な密集密接状態にならないように環境設定に気を配り、換気をまめに行うようにします。
- 4、個別の健康チェックカードを作ります。朝、体温を測り記入して持たせてください。
- 5、手洗いうがいは、大人も子どもも引き続き丁寧に行っていきます。ご家庭でもよろしく願います。
- 6、6月中は行事を最小限にし、職員と送迎の保護者以外の大人の立ち入りを制限したいと思います。夏まつりは中止します。年長組の5月の金勝山遠足は秋に、6月末の年長組合宿はやり方を含め検討し7月末以降に考えています。詳しくは「えんだより」を通じてお知らせします。

登園開始を喜びつつ慎重に進めながら、この災厄をみんなで乗り越えていきましょう。